Hitachi Koki

日立チェンソー

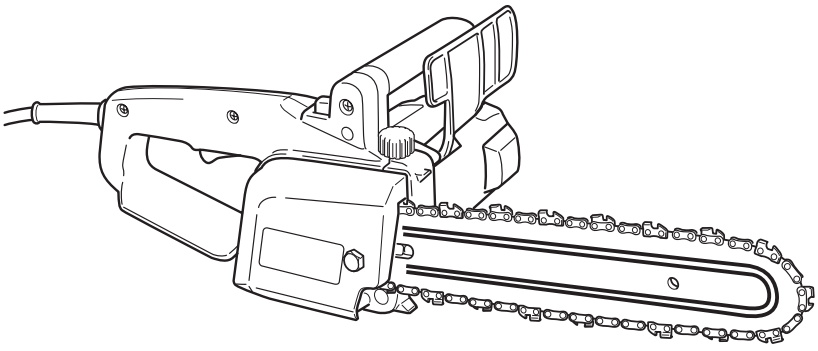
280㎜ **CS 28**

350㎜ **CS 35**

取扱説明書

このたびは日立チェンソーをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁



CS 28

HITACHI

――― 目　次 ―――

ページ

電動工具の安全上のご注意 ・・・

電動工具の安全上のご注意

- **火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。**
- **ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。**
- **お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。**

⚠ 警　告

① 作業場は，いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨の中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
  （例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では,耳栓,イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ(延長)コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ(延長)コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締付け状態，部品の破損，取付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

⧈ 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“⧈”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにご用命ください。

チェンソーの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，チェンソーとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① 使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に速くなり，けがの原因になります。

② チェンソーを雨の中や湿気の多い所で使用したり，放置しないでください。
感電の恐れがあります。

③ 使用中は，両手で確実にハンドルを保持してください。
機体のはね返りによるけがの原因になります。

④ チェン刃は，取扱説明書に従って正しく取付けてください。
誤った取付け方をすると，ガイドバーからチェン刃がはずれ，けがの原因になります。

⑤ はしごや木に登って作業するなど，不安定な姿勢で使用しないでください。
けがの原因になります。

⑥ 肩の高さより高い位置で使用しないでください。
けがの原因になります。

⑦ ガイドバーの先端部で切断しないでください。また，ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。
機体がはね返り(キックバック)，けがの原因になります。

⑧ 使用中は，チェン刃，ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

⑨ 使用中，機体の調子が悪かったり，異常音，異常振動がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑩ 誤って落としたり，ぶつけたときは，チェン刃，ガイドバーや機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⚠ 警　告

⑪ 〔事業者の方へ〕樹木を切り倒す作業や切り倒した樹木を切断する作業を行なう場合は，法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。

関連法令：労働安全衛生法　第59条第3項
労働安全衛生規則　第36条第8号の2
安全衛生特別教育規定　第10条の2

⚠ 注　意

① 使用中，コードを切断しないように注意してください。万一，コードを傷つけたり，誤って切断した場合は，直ちにさし込みプラグを電源から抜いてください。

感電の恐れがあります。

② 使用しないときは，ガイドバーにカバーをし，チェン刃がむき出しにならないようにして，お子様の手の届かないところに保管してください。

けがの原因になります。

③ スイッチを入れるとき，チェン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。

機体が引っ張られたり，戻されたりして，けがの原因になります。

④ 作業中は，手袋，保護メガネを使用し，履物は滑りにくいものを着用してください。

けがの原因になります。

⑤ 材料に石，釘などの異物がないことを確かめてください。

刃物が石などに当たると，けがの原因になります。

⑥ 切断材料は，確実に固定してください。また，切り落とし材に十分注意してください。

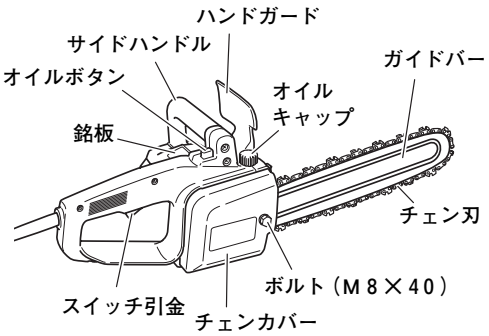
けがの原因になります。

⑦ 切り落とし寸前や切断中に材料の重みで，ガイドバーが材料にはさみ込まれないように，切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。

ガイドバーがはさみつけられると，けがの原因になります。

注
- **ご使用前に，必ずオイルタンクに当社指定のチェンソー用オイルを補給してください。**
- **チェン刃は，まめに目立てをしてください。切れ味が悪くなると，作業能率が落ち，チェン刃の寿命も短くなります。**

各部の名称



CS 28　図1－1

（CS 35はガイドバーの長さの違いをのぞき，CS 28と同形状です。）

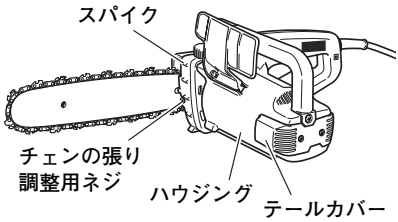
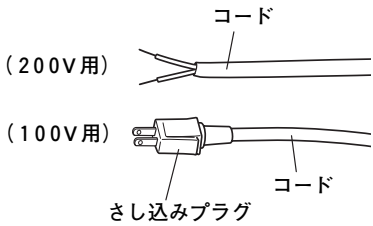


図1－2



仕　　様

項目＼形式	CS 28	CS 35
使用電力	単相交流50／60 Hz　共用	
	100 V	100 Vまたは200 V 共用ではありません。
バーサイズ(最大切断深さ)	280 mm	350 mm
無負荷チェンスピード	7.5 m／s｛450 m／min｝	
全負荷電流	12 A	14 A…100 V品 7 A…200 V品
消費電力	1140 W	1330 W
モーター	単相直巻整流子モーター	
質量（コードを除く）	4.0 kg	4.2 kg
コード	2心キャブタイヤケーブル　5 m	
オイルタンク容積	107 mL｛107 cc｝	
振動3軸合成値※1	3.5 m/s² ※2	4.9 m/s² ※2

（200 V品は生産を打ち切る場合があります。）

※1：振動3軸合成値（周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値）については，
JEMA［一般社団法人日本電機工業会］
ウェブサイト：http://www.jema-net.or.jp/Japanese/pis/powertool.html
をご参照ください。

※2：振動3軸合成値は、EN60745-2-13規格に基づき測定しています。

標準付属品

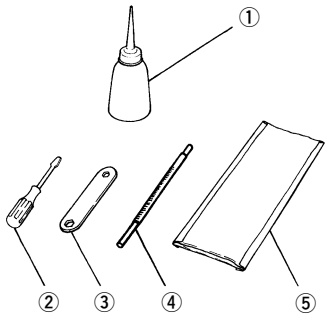


図　2

① 油さし……1個
② マイナスドライバ……1個
③ スパナ……1個
④ 丸ヤスリ……1個
⑤ チェンケース……1個
（チェンソーの持ち運びや保管用）

別 売 部 品

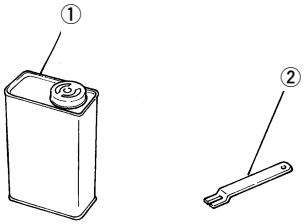


図　3

① チェンソー用オイル
② デプスゲージジョインター
チェン刃の目立てに使用します。
使用方法は16，17ページ「チェン刃の目立て」の項をご覧ください。

用　　途

○木材の切断
〈用途例〉
マキ切り，椎茸栽培用ほだ木作り，果樹の枝落し，古材切り，柱の荒切り，捨て切り
農作業，建築現場から日曜大工，レジャーまで広くご使用いただけます。

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認 ……

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ(延長)コード……

⚠ 警　告
• 継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 ㎟	10 m
2 ㎟	15 m
3.5 ㎟	30 m

左の表は，使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

左の表は100 V品の場合であり，200 V品の場合には最大長さはこの2倍が限度です。

3．作業環境の整備・確認……

作業する場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

• ご使用前に次のことを確認してください。1～4項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

1．使用電源を確かめる……

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり，機体が破壊する恐れがあります。

また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる……

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図1－1参照）を引くと入り，離すと切れます。

スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．チェン刃の張り具合を確かめる……

チェン刃が適切に張られていないと，チェン刃やガイドバーを傷め，故障の原因になります。11ページの「チェン刃の張り方」をご覧になり，適切に張られていることを確かめてください。チェン刃が新しい間は，特に伸びやすいので，ときどき張り具合を点検し，調整してください。なお，チェンカバー締付け用ボルト（図1－1参照）の締付けも点検してください。

4．オイルタンクに油を入れる……

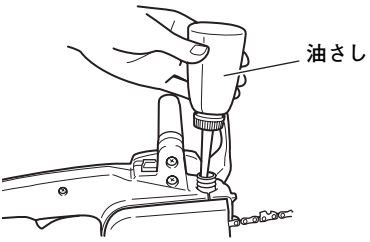


図　4

本機はオイルタンクに油を入れないで出荷しています。ご使用前に必ず，オイルキャップ（図1－1参照）をはずし，オイルタンクに付属の油を入れてください。

付属の油がなくなりましたら，別売部品の日立チェンソー用オイルか，市販のモーターオイルSAE 20またはSAE 30をご使用ください。

注
• 油の種類によっては，プラスチック製の本機外枠に悪影響を及ぼすことがあります。必ず，指定の油をご使用ください。
• オイルタンクにゴミなどの異物が入りますと，故障の原因になります。ゴミなどが入らないように気をつけてください。

5．電源コンセントの点検……

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

6．チェン刃とガイドバーに注油する……

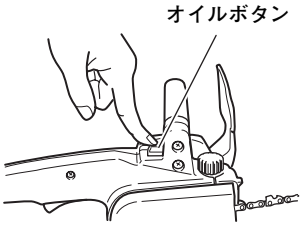


図　5

オイルボタンを押せば，ガイドバーとチェン刃に注油されます。

スイッチを入れチェン刃を回転させながら，オイルボタンを３～４回押して，油をよくまわしてください。このとき，前方に油が飛散しますのでご注意ください。なお，切断前にもオイルボタンを押して，注油してください。

チェン刃の張り方

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠ 注　意

• チェン刃には鋭利な刃が付いています。手袋を着用するかボロ布を使用し，けがをしないよう注意してください。

(1) 付属のスパナを使い，チェンカバーを締付けているボルトをゆるめてください。(図６)

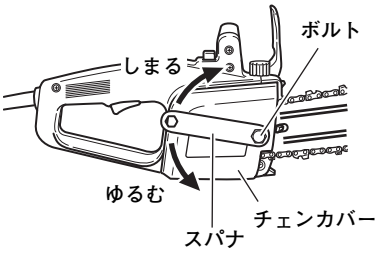


図　6

注 **• ボルトはゆるめるだけで，はずす必要はありません。**

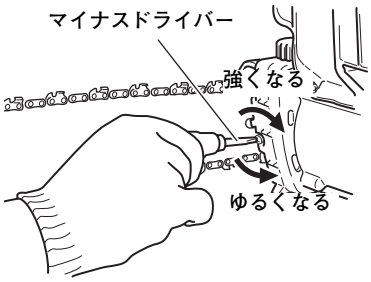


図　7

(2) ガイドバーの先端を持ち上げながら，付属のマイナスドライバで調整ネジを回し，チェン刃の張りを調整します。

調整ネジを右に回すとチェン刃の張りは強くなり，左へ回すとゆるくなります。(図7)

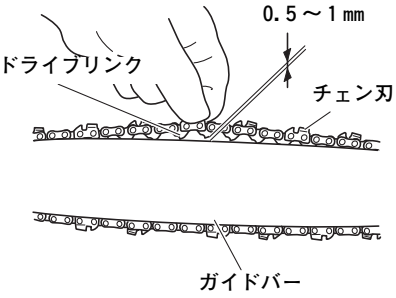


図　8

(3) チェン刃の張りは，ガイドバーの中央付近でチェン刃を軽く持ち上げたとき，チェン刃のドライブリンクとガイドバーのスキマが0.5～1㎜ 程度となるように調整します。(図8)

(4) 調整が終りましたら，チェンカバー締付け用のボルトを十分締付けてください。(図6)

⚠ 警　告

- **調整後，チェンカバー締め付け用ボルトが十分締まっていることを確認してください。ゆるんでいると，けがの原因になります。**

切　り　方

⚠　警　告

- **使用中は，両手で確実にハンドルを保持してください。本体のはね返りによるけがの原因になります。**
- **使用中は，チェン刃，ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。**
- **木材の下側から切り込みを入れる場合，チェン刃を木材に強く当てないでください。機体が押し戻され，けがの原因になります。**
- **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音，異常振動がしたときは，直ちにスイッチを切ってください。**
- **作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠　注　意

- **使用中，コードを切断しないように注意してください。**
- **材料は，確実に固定してください。また，切り落とし材に十分注意してください。けがの原因になります。**
- **スイッチを入れるとき，チェン刃が材料や他のものに当っていないことを確認してください。本体が引っ張られたり，戻されたりして，けがの原因になります。**
- **使用中，チェン刃が別の材料や他のものに触れないように注意してください。とくに，切り終わりのとき，地面に接触しないよう注意してください。**

1．切り方の基本……

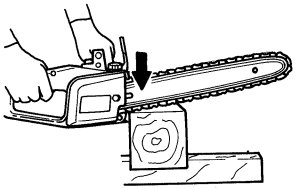


図　9

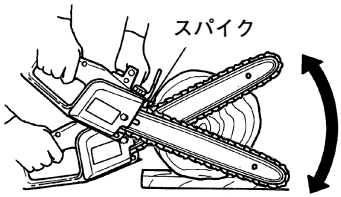


図　10

(1) チェン刃が木材に触れない状態でスイッチを入れ，チェン刃のスピードが上がってから切断を始めます。

(2) 細い木材を切断する場合は，ガイドバーのつけ根付近を木材に軽く押しつけるだけで切断できます。(図 9)

(3) 太い木材の場合は，本体の前部についているスパイクを切断する木材に当て，このスパイクを支点として，テコ運動をしながら切断します。(図 10)

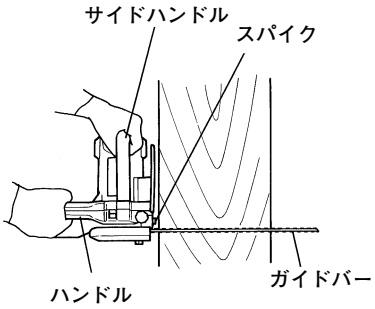


図　11

(4) 木材を水平方向に切断する場合は，ガイドバーが下側になるよう機体を右側に倒した状態でサイドハンドルの上側を左手で持ちます。ガイドバーを水平にして機体の前部についているスパイクを木材に当て，このスパイクを支点としてハンドルを右に回すようにして切り込みます。(図 11)

(5) 木材の下側に切り込みを入れる場合は，ガイドバーの上側を木材に軽く当てます。(図 12)

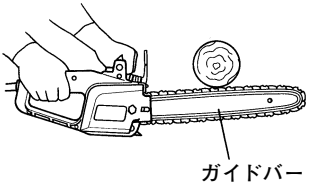


図　12

注 **• 切断前にオイルボタンを 2～3 回押し，チェン刃とガイドバーに注油してください。注油は 1 回切断するごとに行なってください。また，オイルタンクが空にならないよう，早目に油を補給してください。**

• 作業が終りましたら，サビ止めのため，チェン刃を回転させたままオイルボタンを 3～4 回押し，ガイドバーとチェン刃に十分油を回してから，保管してください。

2．枝落とし……

⚠ 注　意

• 落ちてくる枝から，安全に避難できるように注意してください。
小枝を切るときには，チェンソーがはね返ることがありますので注意してください。

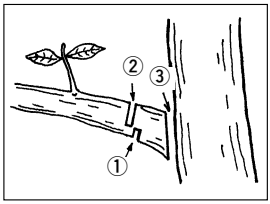


図　13

(1) 太い枝は，まずつけ根から少し離れたところを切り落とします。
　はじめに下側から 3 分の 1 くらい切り込み，次に上側から切り通して落とします。

(2) 最後に，残りの部分をつけ根から切り落としてください。(図 13)

〈たおれた木の枝落とし〉

⚠ 注　意

• 地面に当たっている枝は丸太の重量を受けているので，切るときにガイドバーをはさまないように注意してください。また，切り終りに丸太がころがることがあるので，注意してください。

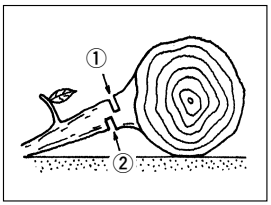


図　14

(1) まず地面に当っていない枝から切り落とし，その後地面に当っている枝を切りとります。

(2) 地面に接触している太い枝は，まず上側から半分くらい切り込み，次に下側から切り込み，枝を落とします。(図 14)

3．玉切り……

⚠ 警　告

• 傾斜地で作業する場合は，必ず，木材の上方で作業してください。下方で作業すると，切り落とした木材が転がってくる恐れがあり，けがの原因になります。

⚠ 注　意

• 切断の際に，ガイドバーがはさまれないように注意してください。

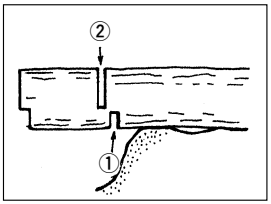


図　15

(1) 図 15 のように先端の浮いている部分を切る場合は，はじめに下側から 3 分の 1 程度切り込み，次に上側から切り落としてください。

(2) 図 16 のようにくぼみにまたがっている部分を切る場合は，はじめに上側から 3 分の 2 ほど切り込み，次に下側から切り通してください。

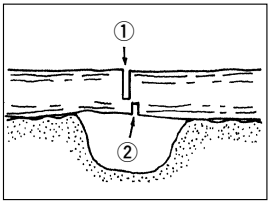


図　16

4．伐木 ……

⚠ 警　告

• 木が倒れる方向をよく確認してから，避難場所へ避難してください。

⚠ 注　意

• 切断の際に，ガイドバーがはさまれないように注意してください。
傾斜地で作業する場合は，木の倒れる方向に注意してください。

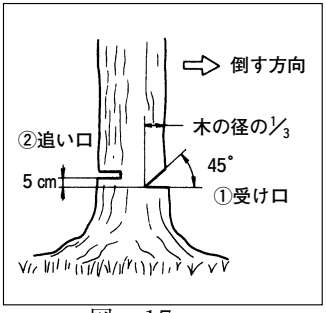


図　17

(1) 木の形状や周囲の状況を考慮し，木を倒す方向を決めます。
(2) 木のまわりの障害物をとり除くと同時に安全な退避場所を決めておきます。
(3) まずはじめに倒そうとする側に受け口を切り込みます。受け口は木の直径1/3くらいが適当です。（図17）
(4) 受け口の反対側で受け口の下面より5 cm程度高い位置より追い口を切込みます。（図17）

(5) 木が倒れはじめたら，スイッチを切り，あらかじめ決めておいた退避場所へ避難します。

チェン刃の目立て

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠ 注　意

• 手袋を着用し，チェン刃でけがをしないよう注意してください。

チェン刃の切れ味が悪くなりますと，モーターや機体の各部に無理をかけ，能率も悪くなります。
本機の能力を発揮するためには，チェン刃をまめに手入れし，切れ味の良い状態にしておくことが必要です。

注 **• 目立ておよびデプスゲージの調整は，チェン刃を機体に取付けたまま，ガイドバーの中央部で行なってください。**

1．目立て……

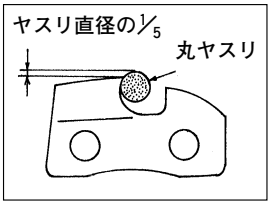


図　18

付属の丸ヤスリを使用し，図18のように丸ヤスリ直径の1/5をチェン刃の上に出して，図19，20のように30°の角度で水平に全てのチェン刃をヤスリがけしてください。全てのチェン刃の角度がそろっていないと，曲って切れることがありますので注意してください。正しく目立てされたチェン刃の各部角度は図21のようになります。

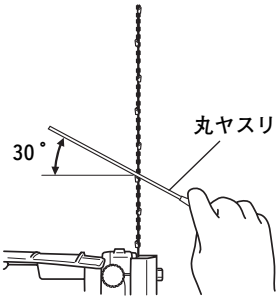


図　19

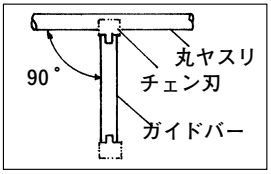


図　20

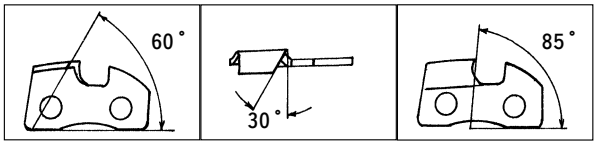


図　21

2．デプスゲージの調整……

注 **• この作業は別売部品のデプスゲージジョインターと市販の平ヤスリを使用してください。**

図22の寸法をデプスゲージと呼びます。デプスゲージは切込み量を決める重要な寸法で，本機のチェン刃の場合は0.5㎜が最適です。目立てをしますとデプスゲージがだんだん小さくなります。目立を3～4回行なうごとに，図23のようにデプスゲージジョインターを当て，デプスゲージジョインターの溝から上に出るようでしたら，平ヤスリでスリ落してください。

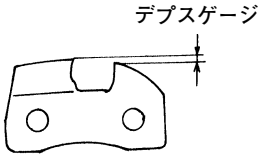


図　22

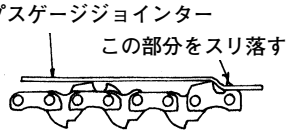


図　23

チェン刃とガイドバーの取付け・取りはずし

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

⚠ 注　意

- **チェン刃には鋭利な刃が付いています。手袋を着用するかボロ布を使用し，けがをしないよう注意してください。**

1．取りはずし……

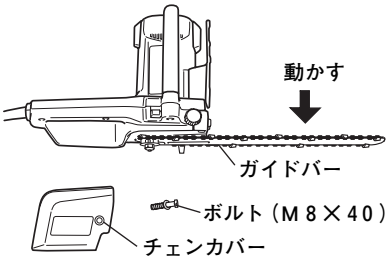


図　24

(1) 付属のスパナでボルトをゆるめ，チェンカバーをはずしてください。

注 • **ボルトについているスプリングワッシャを紛失しないようにしてください。**

(2) 次に，ガイドバーの先端を図 24 のように動かせば，ガイドバーがはずれ，チェン刃もスプロケットからはずせます。

2．取付け……

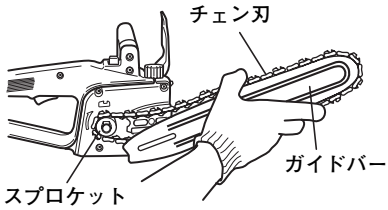


図　25

(1) まず，ガイドバーの先端にチェン刃をはめこみ，次にチェン刃をスプロケットに正しくかみ合わせます。（図 25）
　このときチェン刃の刃の向きは，図 26 のようにセットしてください。

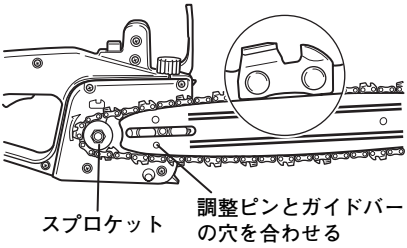


図　26

(2) 調整ピンがガイドバーの穴に入るようにして，本体の取付け部にガイドバーを合わせてから，チェン刃をガイドバーの溝にはめ込みます。（図 26）
(3) チェンカバーを取付け，ボルトを軽く締めます。

注 • **スプリングワッシャを忘れずに組み込んでください。ボルトを交換する際はM 8 × 40 ボルトをご使用ください。**

(4) チェン刃の張りを調整してから，付属のスパナでボルトをしっかり締付けてください。チェン刃の張りの調整方法は，11 ページをご覧ください。

保守・点検

⚠ 警　告

• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．チェン刃の点検……

(1) ときどきチェン刃の張りを点検し，正しく張られていない場合は，11 ページの「チェン刃の張り方」を参照し，調整してください。

(2) 切れ味が悪くなったらそのまま使用せず，16 ページの「チェン刃の目立て」を参照し，目立てをしてください。

(3) ご使用後はサビ止めのため，ガイドバーとチェン刃に十分油をまわしてください。

2．ガイドバーの掃除……

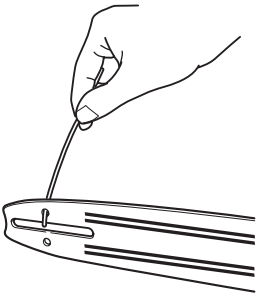


図　27

ガイドバーの溝や油の出る穴に切粉などがつまりますと，油がまわらなくなり故障の原因になります。ときどきガイドバーをはずし，針金などを使用して掃除してください。(図 27)

注 • ガイドバーの取付け・取りはずしについては 17 ページを参照してください。

3．各部取付けネジの点検……

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

4．モーター部の取扱いについて……

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 • モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。使用後は，モーターを無負荷回転させてモーター内部に風を送りますと，内部のごみやほこりの排出に効果があります。

5．表面のよごれの清掃……

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は，かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

6．製品や付属品の保管……

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○ お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○ 軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○ 温度が急変する場所
- ○ 直射日光の当たる場所
- ○ 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

} このような場所には保管しない。

カーボンブラシの交換について

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しています。

カーボンブラシを交換する場合は，決してご自分ではなさらないで，お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点に御相談ください。

エンジン発電機について

山林，キャンプ場など電源のない場所での作業に，日立エンジン発電機をご利用ください。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。

メ　　モ

メ　　モ

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒004-0053	札幌市厚別区厚別中央3条一丁目2番20号	☎(011) 896-1740(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
関東支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）	☎(03) 5783-0608(代)
中部支店	〒451-0051	名古屋市西区則武新町一丁目32番16号	☎(052) 533-0231(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒663-8243	西宮市津門大箇町10番20号	☎(0798) 37-2665(代)
中国支店	〒730-0826	広島市中区南吉島二丁目3番7号	☎(082) 504-8282(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町一丁目28番14号	☎(087) 863-6761(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

● **電動工具ご相談窓口** ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル 0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00 ～ 午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

部品コード　99507404　N